

■2021年度A日程実務経験者特別入試・早期卒業者特別入試・一般入試 「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

公共政策における「行動経済学」の応用に関する文章を正確に読解して長文の作成を求めるものである。「行動経済学」の観点から具体的な公共政策が抱える問題点を指摘する筆者の主張を正確に理解し、それを踏まえた上で、法科大学院で学修する法制度の設計・運用に求められる「公平性」「透明性」「正義性」に関する理解・認識を問うている。

文章の内容を正確に理解した上で、法制度の設計・運用における留意点について、自分自身の考えを、明確に、根拠をもって、論理的・説得的に述べることが求められ、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章で書くことができるかどうかを評価している。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法（斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し）、及び、②記入方法（記入欄・横書き）が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中に訂正後の解答を書いてたり、解答欄外に訂正後の解答を書くなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 [問]について

問題文中で指摘されている数多くの事実から、法制度の設計・運用にとって意味のあるものが選び出されているか、そして、その事実がもつ意味内容から、法制度の設計・運用における留意点が論理的に導かれているか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章で表現されているか等を基準として採点している。

以上